

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------|----|-------------|
| ○事業所名 | アバンツアーレプレイなご | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年2月9日 | | ～ 令和8年3月19日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 20 | (回答者数) 17 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年2月9日 | | ～ 令和8年3月19日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年3月30日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | ハルシューレプログラムによる運動療育 | ハルシューレというボール遊びを通して、運動能力の向上だけではなく、ルール理解や対人関係の形成を含めた社会性の育成を図っています。 また、成功体験を積み重ねることで自己肯定感の向上やコミュニケーション能力の発達にもつながるよう支援しています。 | ハルシューレに限らず、個別支援計画に基づいた個別支援と集団支援を組み合わせ、子ども一人ひとりの発達段階や特性に応じた総合的な支援の質の向上に継続的に取り組みます。 |
| 2 | 日常生活にそくした活動内容 | クッキングや工作、野菜作り等の活動を通して、楽しみながら生活スキルの習得を図り、発達段階に応じた身辺自立の支援を行っています。 また、役割分担や協力場面を設けることで、社会性や主体性の育成にもつなげています。 | 活動時に想定されるリスクの事前把握と予防策の徹底に加え、器具や道具の安全な使用方法について子ども自身が理解して行動できるように支援し、安全管理体制の強化に継続して取り組みます。 |
| 3 | | | |

| | 事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 男女差が大きい | 運動を中心とした活動イメージが強く、男子の利用が多くなっている現状がある。 | 女子利用者がいないわけではないため、 ・活動内容や雰囲気をも具体的に発信する ・女子も安心して利用できる環境であることを明確に伝えることで、女子利用につながる周知を強化していきます。 |
| 2 | 活動内容の認知度が低い | 周辺地域との関わりが薄く、情報発信も少ないため、どのような活動をしているかのイメージが持たれていない。 | ・SNSや会報誌の活用による情報発信の強化 ・地域との関わり(イベント・連携)の増加により、活動内容の見える化と認知向上を図っていきます。 |
| 3 | | | |